

エルカミーノ心得

エルカミーノ店主

観客側からの視点を重視した、一歩進んだバンド育成のためのご参考にしてください

◎ 演奏前には、なるべく不快な音は控える

- ・チューニングはMUTEして
- ・アンプの試しは最小音で
- ・エフェクターは事前に設定して
- ・ドラムのチューニングは最小音で
- ・ドラムの個人練習はひざなどで
- ・演奏する予定の曲は試し弾きしない（手の内がばれてしまいます）

準備に音を出さないでオープニングを始めたら、プロっぽいですよ

◎ 演奏中には、なるべく前を見る

- ・笑顔がミスを帳消しにしてくれます
- ・間違わないように一生懸命弾いていると顔が固くなります
- ・楽譜を見ていると思わぬハプニング（風、曲順）にも対処できません
- ・喜んでくれている人だけを見て、その人のために弾いて上げましょう

観客はプレーヤとの一対一のアイコンタクトで虜になります

◎ 演奏曲は始めと終わりをしっかりと

- ・終り良ければ全てがよく聞こえたことになります
- ・ミスしてもやり直しはせずに最後をしっかりとまとめましょう
- ・一本調子にならないように曲想をつけメリハリをつけましょう

人間の記憶は古いものから書き直されますのでエンディングが全てです

◎ ステージにはストーリーが必要です

- ・曲順や構成はよく練ってから選曲しましょう
- ・苦手な曲は観客にもよく伝わります（トークで苦手だと言わないほうがいい）
- ・オープニングはバンド状態をチェックできる最適な曲を選びましょう
- ・曲の合間はテンポよくつなげるとノリもよくなりプロっぽくなります
- ・1ステージは30分くらいが聴く側の目安です

見ている側が飽きないでしかも参加してきたら、しめたものです

◎ ルックスはとても大事です

- ・人は見られることによりますます磨きがかかります
- ・人に見て欲しいな、と思う個性的なスタイルを身につけましょう
- ・トークもルックスの一部ですのでできるだけ声を出しましょう

はじめて見る人にとって、ステージパフォーマンスが全てです

演奏者側からの視点を重視した、観客側のエチケットについてもご参考にしてください

◎ バンドをほめる

- ・一生懸命演奏した後は誰でも拍手を期待しているものです
- ・拍手一つで次の機会にはもっと素晴らしい演奏をしてくれます
- ・楽しく気の利いた野次、元気付けられる声援は大歓迎です